

2017.02.22：都市整備建設委員会 本文

○菅原正和委員　今説明していただいたのですけれども、若干補足でお聞きしたいことがございます。それは何かといいましたら、資料にはイチョウ1本、その下にベンチ、柵等に利用するという形で書いてありますけれども、ベンチといってもどのぐらいの大きさとか、何個ぐらいつくれるのか、それはちょっとお聞きしたいのですけれども。あと、なおかつ、せっかくこういう市民の意見がいろいろ出た木なものですから、早くいえば、全部寸断するわけではなくて、表面の皮を残すとか、何かそういうベンチの利活用というのも考えられるのではないかと思いますのですけれども、その辺どうなのでしょう。

○青葉区道路課長　イチョウ1本を使ったベンチなどへの利活用でございますけれども、こちら元寺小路福室線沿線には未整備公園がございます。この整備にあわせて、地域の皆様あるいは関係課と調整を図りながら設置するベンチの大きさでありますとか、あるいは規格でありますとか、数でありますとか、そちらのほうを検討していきたいと考えてございまして、現時点では具体的にどのようなものという想定までは行ってございません。

あと、もう1点でございます。せっかくの木でございますのでということで、イチョウの風合いでありますとか、そういうものを残せるような工夫はいかがかという御質問の内容でございますが、こちらも含めまして、地域の皆様と一緒に話し合いをさせていただければと考えてございます。

○菅原正和委員　今お答えいただいたように、きちんとそういう形で作っていただければありがたいなと思います。

あと、その下にイチョウの銘板ということですのでけれども、そちらの銘板もどのぐらいつくるのか。それと同時に、今おっしゃっていただいたベンチと銘板なのですけれども、それはどこからとったということ、表示とかは考えているのでしょうか。

○青葉区道路課長　銘板でございますけれども、こちらアエル北側の歩道上に現在1本を移植するための準備を進めてございます。こちらの移植に合わせて、これまでの経過、経緯なりを示した銘板を設置していきたいと考えてございますけれども、申しわけございません、まだこちら中身については検討中ということで、いろんな方の御意見をいただきながら、こちらは設置していきたいと考えております。

○菅原正和委員　時間遅くなっていますので、手短に進めさせていただきます。

地下鉄東西線の駅舎内に今エスカレーターがあるかと思っておりますけれども、エスカレーターが、仙台駅のほうは上りが2レーンございます。今その間の広告が全然見当たらない。これがあるかと思っておりますけれども、きのうも一般質問で広告の質問がございました。東西線のエスカレーターの階段部分の広告については、今後どうなさるのかということ、ちょっとお聞きしたいのですけれども、よろしく願います。

○交通局経営企画課長 現在、南北線におきましては、6駅10カ所でエスカレーターステッカー広告を実施しているところであり、主に企業のイメージ広告を掲出いただいております。

一方、東西線の駅構内の広告につきましては、内照広告を主たる媒体として、まずはその稼働率を上げることを優先して取り組んでいるところでございます。今年度、換気塔広告を募集いたしましたように、段階的に媒体をふやしていきたいとは考えておりますが、エスカレーターステッカー広告と内照広告は企業のイメージ広告などを長期的に掲出する媒体として競合いたしますことから、その掲出状況を勘案いたしまして、その導入時期について検討してまいりたいと考えております。

○菅原正和委員 今の御答弁を聞きますと、広告主が少ないから今後また検討していくと、そういう形でよろしいですね、今のお話ですと。わかりました。

あと、二つ。エスカレーターなのですけども、今あちこち歩かないでという表示が張っているかと思います。あれは多分事故防止ということで表示しているのかなと思いますけれども、実は仙台駅の東西線、あちらのほうの2レーンありますが、あそこは階段がなく、エスカレーターしかないのですね。なおかつ、実はあそこを歩くと南北線に間に合ってしまうという事実があるのです。要は、乗りかえを待たなくても乗れるという事実があります。一般になれている方は、周知をちょっとしているものですから、皆さん歩いてしまうという事実があるのですね。それで間に合ってしまうので、ちょっと他都市の状況を見てみまして、実は福岡市の博多駅、博多駅も地下鉄があって、博多駅にエスカレーターがあるのですけれども、そちらも2レーンありまして、実は片方が、若干スピードが早いのです。そういうエスカレーター的方式になっています。今、歩くというのを防止するために、片方のレーンだけ、少しだけスピードを上げるということは可能なのでしょうか。

○建築設備課長 エスカレーターの運転速度を早めることですが、まず最初にお客様にとって、確かに移動の速さが増しますので、利便性向上につながると思われれます。ただ、高齢者の方、それから幼児などのエスカレーターのスムーズな乗りおり、それから故障などによる非常停止時の転倒に対する安全性の確保、その辺も含めて、さらにあとエスカレーターの運転速度を変更するに当たり、これからなのですが、どの程度の機器改修が必要となるのか。この辺の課題がありますことから、他都市のエスカレーターの事例等を調査研究していきたいというところなのですが。

○菅原正和委員 調査研究ということは、そこから先になかなか進まないのかなと思うのですけれども、實際上、本当に博多駅では普通にスムーズに乗っているのです。そして、大体その速度って、うんと早いわけじゃなくて、結構距離が長いと三、四人ぐらいは抜いていくという感じなのです。乗りなれている人は、必ず早いレーンに行くのです。観光客とか何かでも、その流れが2本あると、どっちかが早いとかは全然わからないんですけども、乗っているう

ちに、あら、早いんだと気づくのです。日常、朝時間がなかなかなくて、東西線から南北線に行ったときに、おりた途端に戸が閉まるという方が大分いらっしゃるのです。それを見ていると、必ずそこに6分ぐらい待たなきゃだめだと。朝の6分というのは非常に大きくて、ですからそういう努力もきちんと払っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。今の質問に対して、先ほどよりちょっと踏み込んだお答えをいただきたいのですけれども、よろしくお願いします。

○交通事業管理者 課長が申しあげましたように検討すべき課題がございます。ただ、他都市でやっているということでございますので、その事例を十分に把握いたしまして、検討したいと思います。

○菅原正和委員 あともう一つ、エスカレーター脇に階段がございます。階段を上ということは非常に健康にいいわけなのですが、今県庁でメタボ防止のそれをやっています。階段に1階から何段まで上がると何キロカロリーと表示をしております。地下鉄の階段というのは結構長いもので、東西線はエスカレーターで一気に上がれますけれども、南北線などは必ずエスカレーターを使って、必ず階段を上らなきゃだめだと、そういう仕組みになっています。

今回、予算の中で健康づくり推進ということで、周辺の施設までの歩数表示を行う商店街に助成をするほか、従業員の歩数アップに取り組む事業所登録を実施するという予算書案に書いてございます。やはり市民の健康づくりのためには、別に表示するのにそんなに予算はかからないかと思うので、ぜひとも表示をしていただいて、市民の健康の一助になっていただければいいのかなと思うのですけれども、その辺についてちょっと御答弁をお願いいたします。

○交通局営業課長 地下鉄の階段に段数ですとか、階段を利用した際の消費のカロリーを表示するということにつきましては、お客様自身の健康づくりの一助になるものと考えておりますし、あと地下鉄利用の一つの動機づけになるものと考えておりまして、地下鉄駅におけるエレベーターやエスカレーターの混雑緩和ということも含めまして、交通局につきましても一定のメリットがあるものと考えてございます。

一方で、実施に当たりましては、階段に表示することにより、何らかの影響がないかどうかですとか、また効果的な表示方法ですとか、場所等について検討する必要があるものと考えておりまして、今委員から御紹介いただきましたように、関係部署とも連携を図りながら、さまざまな面から検討してまいりたいと考えております。